



行政視察報告書

令和 7 年 4 月 14 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 大山盛久 (印) 議員 西山博行 (印)
議員 山本聡 (印) 議員 (印)
議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

住 所	広島県山県郡北広島町本地 13110-2
電 話	090-8363-3715
視察案件	牛糞、及び牛舎が発生させる糞尿臭の低減への取り組み
期 日	令和 7年4月01日(火) 13 時00分 から15時00分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり (西原牧場主 西原 嘉一氏 / 妻)
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	西原牧場 牛舎及び周辺施設

概要	昨年（令和6年4月）より西原牧場が取り組み始めた乳牛の飲料水が乳牛本体へ及ぼす影響の確認。イオン化した水を飲むことによる糞尿のにおい低減及び糞のたい肥化がもたらす農作物への好循環の確認。花岡昭治氏処方による“天恵カプラス”の効果の検証が今後笠岡湾干拓地へ導入可能か見聞する。 パソナグループ（パソナ農援隊）が所管する花岡氏スキームをパソナ農援隊が実地している現場（西原牧場）での意見交換が笠岡湾干拓地の臭気対策への足がかりとなるか、可能性をパソナ農援隊責任者神智実氏らと情報共有することにより確認する。 （ パソナ本社 / 田中康輔農援隊社長との面談日時の打診 ） 現場の印象 乳牛が50頭近く飼育されている。一頭ずつに飲料用の水飲みボウルが整備されている。乳牛は糞尿をそのまま後部へ垂れ流す仕組みだが、牛舎には糞尿の悪臭はない。また、ハエも飛んでおらず衛生管理されている。牛の鳴き声もなく、飲料水のもつ腸内環境の改善が想像される。 また、乳牛の生乳を飲んだが、殺菌されていない搾りたての牛乳のくせは無く、非常に飲み易い、生乳の持つ濃厚さは感じられなかった。 牛舎内では（ストレスによる）牛の鳴き声は聞こえない。牛舎後方に設置されているたい肥置き場では、一年前の糞はたい肥化され肥料として近隣農家に流通する仕組みとなっている（直接手で触れた）。発生する糞は都度集められ、たい肥化されているが、悪臭はしない。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

（個人行政視察用）